公園管理運営実践講習「Ⅰ」グループディスカッション　成果シート（提案書）

2019年11月23日	
班番号	1
進行役	
書記係	
発表者	

タイトル

[トンボが戻って来る里山再生プロジェクト!!]

管理者

- 現状調査（モニタリング）
- ボランティアのコーディネート
- 管理運営計画
  - 木材木管理
  - 園内のゾーニング
  - 発生材の管理・活用

イベント

- 田植え
- 自然観察会
- 収穫体験
- 昔遊び体験
- 里山カフェ

市民

- 地域ボランティア
- 近隣小中学校
- 専門家

みんなが集う場が生まれる!!

公園管理運営実践講習「Ⅰ」グループディスカッション　成果シート（提案書）

2019年11月23日	
班番号	2
進行役	
書記係	
発表者	

タイトル

["みんなで創る里山DIY"]

～産・官・学・民 協働による持続可能な里山管理～

調整役
公園管理運営士
↓
・保全計画の設定（かじとり）

産
・企業名を冠した森をつくる（ネーミングライツ）

官
・財源・資材・場所の提供（サポート支援）

円卓会議
共通目標となる管理ガイドライン
協議会

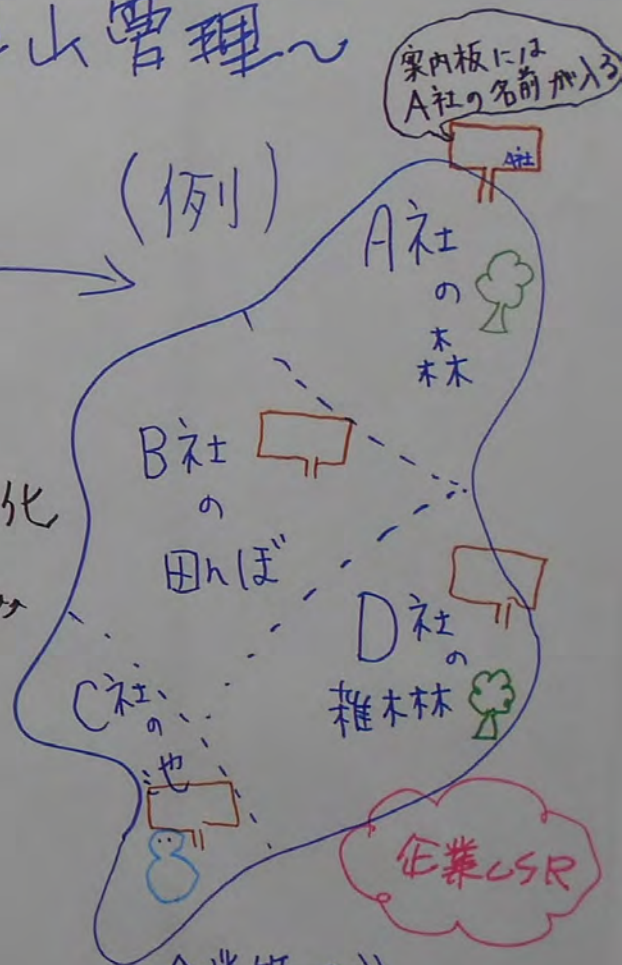
民
・成果の見える化
↓
モチベーションUP

・リピーターがボランティアに入る流れ

学
環境教育 → 学 → 将来の担い手

・ゲーム性のあるプログラム（楽しい）
・子供の頃の原風景

（例）



《企業管理》
荒廃させてしまったら企業のイメージDown↓↓
なので休憩時間とかでも作業

公園管理運営実践講習「 I 」グループディスカッション 成果シート(提案書)

2019 年 11 月 23 日	
班番号	3
進行役	
書記係	
発表者	

タイトル
[あなたと私の雑木林]

取り巻く現状：維持管理費縮減
ボランティア・市民参加減少 高齢化

具体策：ボランティアをつのる ―― ・落ち葉の保全・管理
・畑づくり サツマイモ ジャガイモ
・間伐材の利用
└ 丸太を利用したコースター作り

成果
・高齢者の生きがい活動
・健康促進
・ワークショップの開催
・雑木林の再生
・ボランティアのレクレーション活動(焼きイモ イモ煮会)

公園管理運営実践講習「#1」グループディスカッション　成果シート（提案書）

	1年 11月 23日
班番号	4
進行役	
書記係	
発表者	

タイトル
[おいでよ　里山公園]

① イベントの実施

② 知ってもらう

③ 生物多様性に興味をもってもらう

④ ボランティアに参加

⑤ イベントの企画

参加する側

から

企画する側

へ

公園管理運営実践講習「Ⅰ」グループディスカッション 成果シート(提案書)

R 1年 11月23日	
班番号	5
進行役	
書記係	
発表者	

タイトル

[貴重な生態系をみんなで守ろう!]

公園の自然生態系
基礎調査
↓
指標種の設定
↓
モニタリング
↓
反映した管理運営
(下草刈 間伐 など)

市民とともに

伝統的
里山文化の
継承

課題

① ボランティアの高齢化

② 子供の減少

③ 技術の伝承

⑦ CSR

⑧ 大学等の学習の場に!

〈課題解決〉

・モチベーション向上

・幅広い参加を(間口拡大)

⇓

① モニタリング調査発表の場

② 収穫物を使用したイベント(しいたけ、山菜)

③ 専門家を招いた講座

④ 発生材で炭やき
⇓
BBQ

⑤ 参加ボランティアへの特典付与
(BBQ割引 等
Parking無料)

⑥ 都会への幅広い広報

公園管理運営実践講習「 I 」グループディスカッション 成果シート（提案書）

タイトル

孫が遊べる里山

2019年 11月 23日	
班番号	6班
進行役	
書記係	
発表者	

目標

1. 子ども達が楽しめる里山
2. 高齢者が楽しめる里山
3. 安全・安心
4. 生態系の保全再生

取組① 学習・遊び

- 自然観察会・落葉プール
- クラフト教室

取組② 生きがい作り

- 里山管理 下草刈 枝打ち
- ガイドツアーのガイド役

取組③ 植物・施設管理

- 防犯上 見通しが良い

取組④ 生態系の保全再生

- 動植物調査
- 里山内のゾーニング
- 外来種管理

私達の役割

① 広報活動

② ボランティア募集・管理・育成

③ 定期巡回と日常管理

④ プランニング

⑤ 情報収集

公園管理運営実践講習「 I 」グループディスカッション 成果シート(提案書)

2019年 11月 23日	
班番号	7班
進行役	
書記係	
発表者	

タイトル

[多様な関わり方で生物多様性をめざす]

関わり方

コアな
ボランティア

気軽に参加
できる
ボランティア

主導する

興味を
持ってもらう

活動

・現況を示す

・管理することの
効果を教える

成果

・ボランティア
のやりがい

・環境教育

・本来いるべき
生き物が住みやすい
環境づくり

公園管理運営実践講習「 I 」グループディスカッション 成果シート(提案書)

2019年11月23日	
班番号	8
進行役	
書記係	
発表者	

タイトル

[よみがえれ！里山!!]

廃村を再生し、ふるさとの景色をとりもどす

- 元の里山環境の復活
- 旧住民との連携 → ボランティアとしてサポートしてもらう
- ため池・雑木林の整備として見せ場をつくる

春

- 地域のサクラ観賞会
- 田植え
- 竹の子掘り
- 山野草の収穫祭

夏

- 梅の実収穫祭
- ドクダミ収穫・活用
- ホタルの観賞会
- オオムラサキ観賞会
- カブトムシ・クワガタ木のぼり大会

秋

- ドングリ・栗
- 稲刈り体験
  → 新米を食べる会
- 干柿づくり体験

冬

- 野鳥観賞(雪景色)
- かど松づくり
- もちつき
- 星空観賞会

◎イベントを通して、地域一体となって里山の管理を行う

公園管理運営実践講習「Ⅰ」グループディスカッション　成果シート（提案書）

2019 年 11月 23日	
班番号	9班
進行役	
書記係	
発表者	

タイトル

[民間活力で新しい世代をとりこむ里山管理]

課題

- 高齢化、ボランティア
- コアメンバー減
- 維持管理費減
- 来園者減

民間ノウハウ・資金

- PR
- おしゃれ
- 資金
- アイデア

公園管理者

- レンジャー、ボランティア（里山公園クラブ）

地域

- 学校
- 自治会

連携

生物多様性

管理作業のレクリエーション化

- 親子で体験　田んぼ　水辺　かぶとむし
- 学校連携

アウトドアイベント

- 企業協力推進
- 星空キャンプ、里山ディナー、コンサート

新規来園者UP

若者世代

幅広い世代に生物多様性の大切さを広めることができる

維持費も民活でUP

コアメンバー増

若がえり

公園の知名度UP

公園管理運営実践講習「Ⅰ」グループディスカッション　成果シート（提案書）

2019 年 11 月 23 日	
班番号	10
進行役	
書記係	
発表者	

タイトル

[オオタカのすむ里山の再生]

【市民参加の課題】

- 高齢化
- 継続性
- 技術力

Plan

中長期計画を立てる

Do

林地整備

ボランティアとの協働

下草刈り

倒木処理（ハビタットの確保）

外来生物の駆除

Check

モニタリング調査

環境学習

Action

計画の見直し

オオタカがいることによって……？

生物多様性のシンボル

オオタカが生息することによって、生物多様性が保たれ、里山の保全につながる

公園管理運営実践講習「Ⅰ」グループディスカッション　成果シート（提案書）

2019年11月23日	
班番号	11
進行役	
書記係	
発表者	

タイトル

人を呼ぶ里山調査

未来のボランティア

子ども
安全確保
キリカブ
ベンチ

明るい森
間伐
枝打ち
落ち葉

暗い森
大径木を残す（保全）

⇓

学習
ワークショップ

鳥・タヌキ
山野草

フクロウ

ファンを増やす

公園管理運営実践講習「Ⅰ」グループディスカッション　成果シート（提案書）

R1 年 11 月 23 日	
班番号	12班
進行役	
書記係	
発表者	

タイトル

[古き良き日本の里山を楽しむ!!]

生態調査

- 地域の特性、ニーズを把握

ゾーニング

- レクリエーションエリア
- 資源活用エリア
- 保全エリア

- 希少種の保全

キンラン・ギンラン etc…

イベント活用

- 間伐して薪づくり → ピザ焼き
- ソバ作り・米作り
- 学校授業に活用

- 里山の保全
- 地域の活性化

公園管理運営実践講習「 I 」グループディスカッション 成果シート（提案書）

2019 年 11 月 23 日	
班番号	13 班.
進行役	
書記係	
発表者	

タイトル

何でもできます！『ごった煮』公園

問題点

法律・制度による制限

お金・人が少ない

行政の方針により

個人…

…法律など

知らない

知識が無い

子どもが少ない

遊び方を知らない

…人

利用者

いただきます！公園

生き物と触れ合える！

禁止看板を無くした

税金を使わなくても良い！

田舎暮らしを体験できる公園

木工作・クラフト体験できる公園

コーディネーター＝管理者

解決

職員以外の人が主体となる

地域の高齢者に依頼する

地域の農家に付け合い連けいする